

早稲田大学大学院文学研究科 ガイダンス資料

2024年5月



研究機関としての大学

→ 「研究」とは？

- ・ 勉強と研究とは異なるものだ

→ 人文学の研究をしてみたい

- ・ 人文学研究の「社会的意義」はなにか

→ 早稲田大学文学研究科はどのようなところか

- ・ 文学研究科の研究力はどれほどのものか

時代は変化している

- グローバリゼーションの動向
- 専門性の要求

⇒ 修士課程まで進んでから〈就職する〉という選択肢

1) 文学研究科の概要

6) 科目履修（修士課程）

2) 学修・研究環境

7) 留学

3) 入学試験制度

8) 資格取得

4) 学費

9) 学位取得

5) 奨学金・研究費

10) 進路

1) 文学研究科の概要



早稲田大学大学院文学研究科



文化構想学部・文学部に限らず、早稲田大学のお学部や
他大学から進学する方も多くいます

1-1) 文学研究科の課程



修士課程 22 コース

- ・ 標準年限：2 年（最大 4 年）
 - ・ 在籍学生数：約 340 名
(2024年4月現在)
 - ・ 学位：修士（文学）
 - ・ 修了要件：
 - ▶ 所定の 32 単位以上 修得
 - ▶ 所定の研究指導
 - ▶ 修士論文審査、試験合格
- *その他、コースごとの要件あり**

博士後期課程 21 コース

- ・ 標準年限：3 年（最大 6 年）
- ・ 在籍学生数：約 280 名
(2024年4月現在)
- ・ 学位：博士（文学）
- ・ 修了要件：
 - ▶ 所定の研究指導
 - ▶ 博士論文審査、試験合格

専任教員数 約 170 名

1-2) コース紹介



専攻名：人文科学専攻

1. 哲学コース	13. 美術史学コース
2. 東洋哲学コース	14. 日本史学コース
3. 心理学コース	15. 東洋史学コース
4. 社会学コース	16. 西洋史学コース
5. 教育学コース	17. 考古学コース
6. 日本語日本文学コース	18. 文化人類学コース
7. 英文学コース	19. 表象・メディア論コース
8. フランス語フランス文学コース	20. 現代文芸コース（修士のみ）
9. ドイツ語ドイツ文学コース	21. 中東・イスラーム研究コース
10. ロシア語ロシア文化コース	22. 国際日本学コース
11. 中国語中国文学コース	23. 社会構築論コース（修士のみ）※
12. 演劇映像学コース	※2025年4月より新設

2) 学修・研究環境

中央図書館



- 早稲田大学図書館は、東京専門学校図書館設置（1882年）以来の長い歴史を持ち、蔵書数は600万冊を超え、国内の大学の中でも有数の規模を誇る図書館です。また、電子ジャーナル、電子ブック、データベースなどの電子資料も豊富です。
- 本学の20を超える図書館・図書室のうち、学内で最も大きく、中心的な役割を果たしているのが中央図書館です。蔵書数は280万冊にのぼり、国宝、重要文化財も所蔵しています。

戸山図書館



早稲田大学戸山図書館
Toyama Library
WASEDA UNIVERSITY

- 戸山キャンパスにおける学習および研究図書館機能を合わせ持った図書館です。
- 中央図書館の分館機能を担う図書館として、1992年4月に開館しました。

蔵書数：約49万冊

開室時間：9時～22時（日・祝休館）

2) 学修・研究環境



研究指導室



大学院生用自習室



- 31号館3Fには、研究指導室が配置されています。
- 33号館低層棟5Fには、大学院生用の自習室があり、多くの大学院生が活用しています。

開室時間：8時～22時（日・祝閉室）
席数：60席

大学院生用印刷室



大学院生用個人用ロッカー



大学院生用ラウンジ



- 33号館低層棟5Fには、ラウンジがあり、研究に関する打ち合わせなどに利用できます。また、個人用ロッカーも設置されています。
- 研究の発表など資料の印刷、丁合に便利な機材をそろえた印刷室も完備しています。

2) 学修・研究環境

坪内博士記念演劇博物館



- アジアで唯一の演劇専門博物館として、能、浄瑠璃、歌舞伎などの古典芸能やシェイクスピアから現代演劇に至るまで古今東西の演劇資料を幅広く収集しています。
- 100万点に及ぶ貴重な収蔵品を幅広く公開するため常設展と企画展を開催。図書閲覧室やAVブースで図書資料、視聴覚資料の閲覧が可能です。

會津八一記念博物館



- 會津八一コレクションをはじめ、戦前より行われた考古学の発掘資料、寄贈された近現代の美術作品、土佐林コレクションのアイヌ民族資料など、いずれも早稲田大学独自の貴重な文化遺産です。
- 1998年の博物館の開館以来、富岡重憲コレクション、内山コレクション、服部コレクション、小野コレクション、安藤更生コレクションなどの寄贈を受け、収蔵品は計約18,000点にもものぼります。これらを常時、展示公開し、学内外の研究、教育に活用される博物館を目指しています。

2) 学修・研究環境

国際文学館（村上春樹ライブラリー）



- ・ 村上春樹氏と縁の深い坪内博士記念演劇博物館に隣接する4号館（早稲田キャンパス内）に、建築家隈研吾氏によって斬新なリノベーションを施し、2021年10月1日に開館。
- ・ 村上氏より寄託・寄贈された小説作品の直筆原稿・執筆関係資料・書簡・インタビュー記事・作品の書評、さらには海外で翻訳された膨大な書籍、蒐集した数万枚のレコードなどを、適切に整理・保管し、閲覧に供することによって、世界中の村上文学の愛好者ならびに国際文学の研究者たちが、新たに「村上春樹文学」「国際文学」「翻訳文学」の研究に取り組める環境づくりに取り組んでいます。
- ・ 館内施設として、最大60人収容のセミナースペースのほか、オーディオルームや、多くの方々が自由に利用できるカフェ、ギャラリー、ポケットパークがあります。

3) 入学試験制度



修士課程

- ✓ 推薦入学試験
- ✓ 一般入学試験
- ✓ 論文特別選抜入学試験

博士後期課程

- ✓ 一般入学試験

3-1) 2025年度入試日程



課程	入試種別	要項公開	出願〆切	筆記試験	口述試験	最終合格者発表
修士	推薦	公開済み	2024年6月12日（水）	—	2024年7月13日（土）	2024年7月18日（木）
	一般 国際日本学コースを除く	2024年6月上旬	2024年7月中旬※2	2024年9月中旬	2024年9月下旬※6	2024年10月上旬※6
			2024年7月下旬※3			
	一般 国際日本学コース※1	2024年7月下旬	2024年11月中旬	—※4	2025年1月下旬	2025年1月下旬
	論文特別選抜	2024年7月下旬	2024年12月中旬	—※4	2025年1月下旬	2025年1月下旬
博士後期	一般 国際日本学コースを除く	2024年7月下旬	2024年11月中旬※2	2025年1月下旬	2025年1月下旬	2025年1月下旬
			2024年12月上旬※3			
	一般 国際日本学コース（4月入学）		2024年11月中旬	—※4	2025年7月中旬	2025年7月中旬
	一般 国際日本学コース（9月入学）		2025年6月上旬	—※5		

- ※1 国際日本学コースのみ、博士後期課程と同じ日程で実施します。
 ※2 主に日本以外（海外）の大学で学位を取得した方（見込を含む）が対象です。
 ※3 主に日本の大学で学位を取得した方（見込を含む）が対象です。
 ※4 書類審査合格者発表は、2025年1月中旬の予定です。
 ※5 書類審査合格者発表は、2025年7月中旬の予定です。
 ※6 日本史学コースのみ、口述試験・最終合格者発表は2025年1月下旬に行います。

詳しくは文学研究科Webサイトの入試要項を必ずご確認ください

3-2) 修士課程推薦入学試験



■ 早稲田大学全学部の卒業見込の学生が対象

■ 書類審査および口述試験で合否判定

- ✓ 2025年度入試では、18コースが募集をします
- ✓ 早稲田大学の学部を卒業見込で、GPA 3.00以上の方が出願可能です
- ✓ 出願にあたっては、早稲田大学の専任教員が作成した推薦書が必要です
- ✓ 各コースが設ける要件に基づいた研究計画書の提出が必要です

入学試験に関する詳細は、入試実施年度の入学試験要項を必ずご確認ください

3-3) 修士課程一般入学試験 (国際日本学コースを除く)

■ 筆記試験および口述試験で合否判定

- ✓ 国際日本学コースを除くすべてのコースが対象です
(国際日本学コースの1次試験は「筆記試験」ではなく「書類審査」を実施します)
- ✓ 大学卒業（見込を含む）が出願資格となります
- ✓ 筆記試験は、コース専門科目および一般外国語（言語はコースによって異なります）です
- ✓ 口述試験は、筆記試験合格者のみを対象に実施します
- ✓ 各コースが設ける要件に基づいた研究計画書の提出が必要です
- ✓ 日本国外の中等教育課程を修了し、かつ日本国外の大学を卒業（見込を含む）した方は、日本語能力試験・日本留学試験結果の提出が必要です

入学試験に関する詳細は、入試実施年度の入学試験要項を必ずご確認ください

3-3) 修士課程一般入学試験 (国際日本学コース)

■ 書類審査および口述試験で合否判定

- ✓ 国際日本学コースが対象です

(国際日本学コース以外のコースの1次試験は「書類審査」ではなく「筆記試験」を実施します)

- ✓ 大学卒業（見込を含む）が出願資格となります
- ✓ 出願時に入学時期（4月または9月）を選択できます
- ✓ 書類審査は、出願時に提出された書類によって審査します
- ✓ 口述試験は、書類審査合格者のみを対象に実施します
- ✓ Additional Information、Statement of purpose、Writing Sample、英語能力に関する証明書、日本語能力に関する証明書などの提出が必要です

※英語能力に関する証明書・日本語能力に関する証明書は提出が不要な場合があります

入学試験に関する詳細は、入試実施年度の入学試験要項を必ずご確認ください

3-4) 修士課程論文特別選抜入学試験



■ 書類審査および口述試験で合否判定

- ✓ 2025年度入試では、17コースが募集予定です
(一部コースは、早稲田大学の在学生もしくは卒業生のみが出願可能となっています)
- ✓ 大学卒業（見込を含む）が出願資格となります
- ✓ 口述試験は、書類審査合格者のみを対象に実施します
- ✓ 英語能力試験（TOEFL（iBT）、IELTS、TOEIC）のスコア（出願に際しては基準値等なし）、
各コースが設ける要件に基づいた研究論文等・研究計画書などの提出が必要です
- ✓ 出願期間が学部の論文提出期限より早い場合は研究論文等は前倒しして準備してください

入学試験に関する詳細は、入試実施年度の入学試験要項を必ずご確認ください

3-5) 博士後期課程入学試験 (国際日本学コースを除く)

■ 筆記試験および口述試験で可否判定

- ✓ 国際日本学コースを除く全てのコースが対象です
(国際日本学コースの1次試験は「筆記試験」ではなく「書類審査」を実施します)
- ✓ 修士課程修了(見込を含む)が出願資格となります
- ✓ 筆記試験は、コース専門科目および一般外国語(言語はコースによって異なります)です
(専門科目を課さないコースもあります)
- ✓ 口述試験は、筆記試験合格者のみを対象に実施します
- ✓ 修士論文等、研究計画書などの提出が必要です
- ✓ 日本国外の中等教育課程を修了し、かつ日本国外の修士課程を修了(見込を含む)した方は、日本語能力試験・日本留学試験結果の提出が必要です

入学試験に関する詳細は、入試実施年度の入学試験要項を必ずご確認ください

3-5) 博士後期課程入学試験 (国際日本学コース)

■ 書類審査および口述試験で可否判定

- ✓ 国際日本学コースが対象です

(国際日本学コース以外のコースの1次試験は「書類審査」ではなく「筆記試験」を実施します)

- ✓ 修士課程修了（見込を含む）が出願資格となります
- ✓ 2023年度入試より4月入学と9月入学で試験日程が異なります
- ✓ 口述試験は、書類審査合格者のみを対象に実施します
- ✓ 修士論文等、研究計画書、履歴書・研究業績等、英語能力に関する証明書、日本語能力に関する証明書などの提出が必要です

※英語能力に関する証明書、日本語能力に関する証明書は提出が不要な場合があります

入学試験に関する詳細は、入試実施年度の入学試験要項を必ずご確認ください

3-6) 合格率と過去問題



■ 修士課程 一般入学試験合格率

	志願者	最終合格者	合格率
2024年度	358	108	30.2%
2023年度	291	105	36.1%
2022年度	261	102	39.0%

■ 過去問題

過去3年分を公開中

□ 入学センターWebサイトに掲載

□ 文学学術院事務所にて閲覧可能

4) 学費【参考】



■ 入学金 (2024年度入学者)

修士課程：300,000円 博士後期課程：200,000円

※過去に早稲田大学の正規学生として在籍したことがある場合は免除

■ 授業料 (2024年度入学者)

※他に実験演習料、諸会費がかかります (実験演習料は所属するコースにより異なります)

□ 修士課程

年間 1年次：624,000円、2年次：824,000円

□ 博士後期課程

年間 1年次：448,000円、2・3年次：648,000円

- 2025年度の入学金・学費・諸会費は決定次第、以下のWebサイトで公開します

入学センターWebサイト 入学金・学費・諸会費

<https://www.waseda.jp/inst/admission/graduate/fees/>

5-1) 奨学金（参考：2024年度）



■ 学内奨学金（全て返還不要の給付型）

□ 大隈記念奨学金・小野梓記念奨学金（主に修士課程対象）

対象：成績優秀者や家計状況の条件基準を満たす学生

400,000円/年

□ 大学院博士後期課程研究者養成奨学金

対象：標準修了年限内で、修士課程修了後の年数や本人収入等の要件を満たす学生

250,000円～400,000円/年

■ 学外奨学金

□ 日本学生支援機構奨学金（貸与型）

修士課程第1種 50,000円 or 88,000円/月 （選択制）

博士後期課程第1種 80,000円 or 122,000円/月 （選択制）

□ 民間団体奨学金（貸与型・給付型）

5-2) 研究費（博士後期課程）



日本学術振興会特別研究員（通称：学振。特別研究員とも呼称）

PD（Postdoctoral）：博士の学位取得者、申請時に取得見込みの者

DC（Doctoral Course）：大学院博士課程（博士後期課程）在学者

採用区分	応募時の学年	採用期間	奨励費（科研費）＊	研究奨励金
DC1	M2	3年間以内	年間最大80万円/年	月額20万円
DC2	D1、D2	2年間以内	年間最大80万円/年	月額20万円

＊正式名称：科学研究費助成事業（特別研究員奨励費）

＊記載はA区分。B区分の場合は、80万円超～150万円以内

- DC1、DC2採用中に博士の学位を取得した場合、資格変更の手続きを行い、PDに資格を変更することができる。また、就職をする場合は、特別研究員を辞退しなければならない。
- 詳細は、必ず当年度の募集要項を確認してください。

5-2) 研究費（博士後期課程）



D C採用者支援奨学金制度（早稲田大学 学内奨学金）

日本学術振興会特別研究員 DC1 または DC2 に採用された者に対して授業料の一部を援助することで、一層研究に専念できる体制を支援することを目的としています。したがって、要件を満たす学生は、定められた期間に申請を行うことで、本奨学金を受給することができます。

対象者：次の条件のいずれにも該当する者

1. 本学大学院博士後期課程ならびに一貫制博士課程3-5年次の正規課程に在籍する者
2. 奨学生に選定される年度において、日本学術振興会特別研究員 DC1 または DC2 に採用されている者
3. 本奨学金に申請する者（申請は年度ごとに行う必要があります）
 - * 休学中の者は奨学生になることはできません

奨学金額：40万円/年

6) 科目履修 (修士課程)



標準履修 単位	第1年度	第2年度	合計
	16～20単位	16～12単位	32単位

内 訳

文学研究科科目

- コース設置科目 (研究指導、演習、講義科目) : 14～18単位必修
 - 外国語科目 : 0～4単位必修
 - 共通科目
 - 他コース設置科目
- コースによって異なる

学内他箇所科目 (グローバルエデュケーションセンター・本学他研究科)

- 全学共通設置科目・大学院生への開放科目
- 他研究科提供科目

協定他大学大学院科目 (慶應、学習院、学習院女子、中央、日本女子、上智、京都、東京)

※博士後期課程は原則として「研究指導」のみですが、指導教員の指示により科目を履修する場合があります

7) 留学 2024年4月1日時点の留学中の学生数



コース名	修士	博士後期
フランス語フランス文学	—	4名
演劇映像学	2名	—
美術史学	1名	—
東洋史学	—	3名
西洋史学	—	1名
表象・メディア論	—	1名
中東・イスラーム研究	—	1名
国際日本学	2名	—

【留学先】

・フランス【6名】、イギリス【2名】、アメリカ【2名】、中国【2名】、ドイツ、シンガポール、モンゴル

(半期以上の期間で海外の研究機関や大学などに留学している学生数)

・その他、短期留学や海外での学会発表などを含む多数の留学者がいる。

8) 資格取得



■ 教育職員免許状（専修免許状）

- 種類： 中学校教諭専修免許状
高等学校教諭専修免許状
- 教科： 国語、社会系科目（中学社会、高校地理歴史、
公民）、英語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、
中国語

※取得できる教科は、コースによって異なります

※当研究科入学以前に同じ教科の中学校教諭 1 種免許状、高等学校教諭 1 種免許状を取得していることなど、取得条件を満たす必要があります。

9) 学位取得



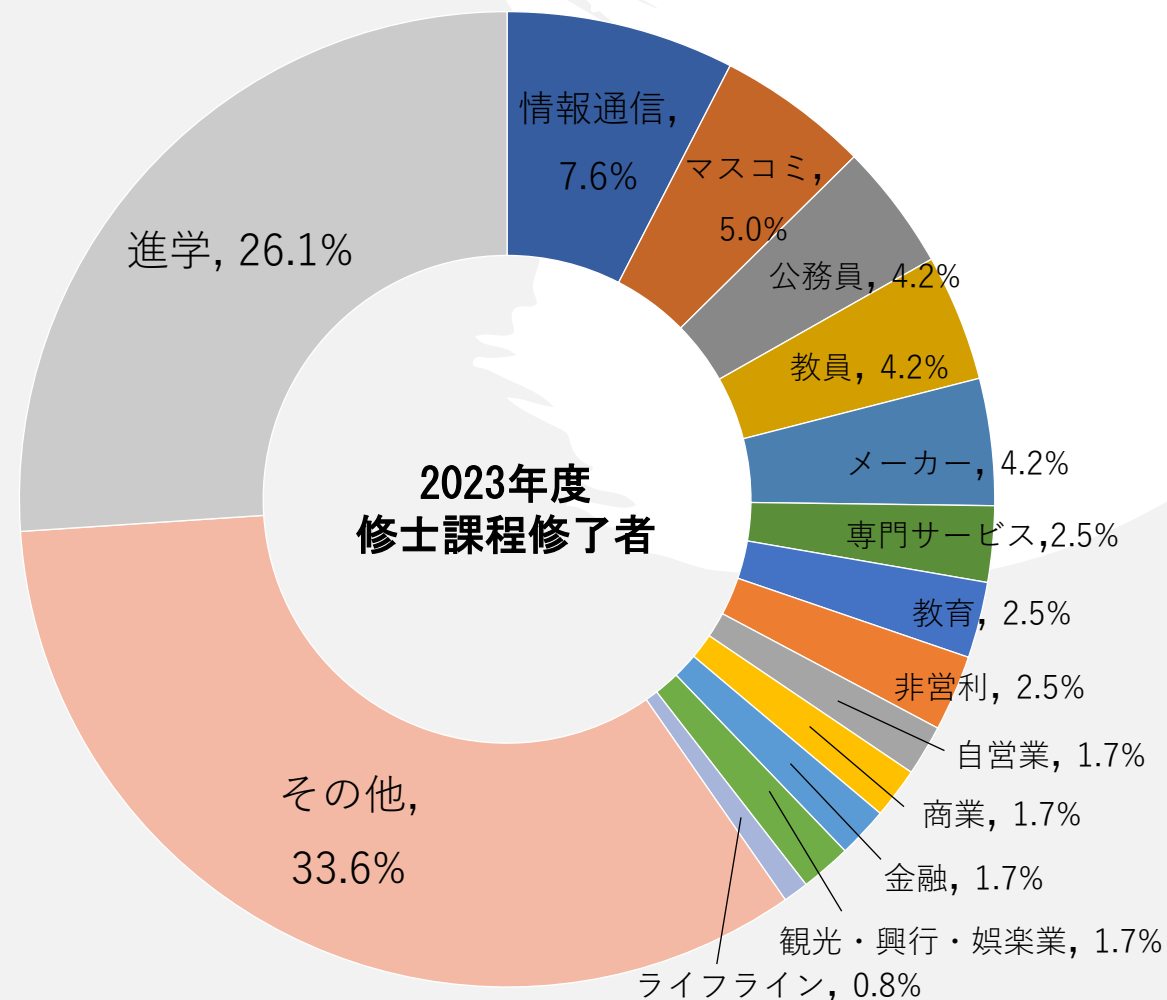
◆修士（文学）

年度	修士取得者数
2023年度	121名
2022年度	108名
2021年度	135名

◆博士（文学）

年度	課程による博士取得者数	うち博士後期課程3年目での博士取得者数
2023年度	24名	1名
2022年度	18名	0名
2021年度	18名	0名

10) 進路（修士課程）



※2024年4月5日時点の情報です

主な進学先

早稲田大学文学研究科

（進学者のうち、約9割が文学研究科
博士後期課程に進学）

就職先一例

国家公務員・地方公務員
私立学校教職員
出版社・新聞社 など

（株）集英社
（株）日本経済新聞社
（公財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団

その他

資格試験など、就職者少数名の業種も
含む

Q 1. 受験前に教員とコンタクトをとる必要はありますか？

A 1. 必要ありません。

教員とのコンタクトを希望する場合は、早稲田大学の「研究者データベース」から該当教員を検索してください。そちらで連絡先を公開している場合があります。

教員が連絡先を公開していない場合は、文学研究科Webサイトの入学試験情報にて、各コースの連絡先を公開していますので、そちらからご連絡ください。

Q 2. 過去問題の閲覧はできますか？

A 2. 過去3年間分について、入学センターWebサイトで公開しています。

（著作権の許諾が得られなかった部分については、閲覧できませんのでご了承ください）

なお、文学学術院事務所でも過去3年間分に限って、過去問題の現物の閲覧が可能です。

Q & A（よくあるご質問）



Q 3. 進学後の指導教員は、どのようにして決まりますか？

A 3. 修士課程の場合は、一部コースが出願時に希望指導教員を確認します。
博士後期課程の場合は、全コースが出願時に希望指導教員を確認します。
いずれの課程も、受験生の希望や研究内容、研究計画また2次試験（口述試験）時の結果を総合的に勘案して、各コースが決定します。
そのため、指導教員が出願時の希望通りにならないことがあります。
なお、合格者に対して、決定した指導教員を文学学術院事務局より通知します。
（通知時期は入学試験要項でご確認ください）

Q 4. 学部の専門分野と違うコースに出願することは可能ですか？

A 4. 可能です。
出願に際し、不安がある場合は、事前に教員やコースにコンタクトをとり、進学後の研究内容についてよく確認をしてください。
（なお、博士後期課程入試において、修士課程の専門と異なる分野のコースに出願する場合、「出願コースの分野にかかる修士論文に準じる論文」の提出が必要になります）

Q 5. 一般科目等履修生制度について

A 5. 正規生としてではなく、「履修許可科目」として設定された科目（文学研究科Webサイトの入学試験情報に掲載）の中から、希望する科目を履修できる制度です。

なお、すべてのコース・すべての科目が履修できるわけではありません。
また、コースによっては履修科目数に制限を設けていることがあります。

Q 6. 外国人留学生向けの奨学金はありますか？

A 6. 外国人留学生を対象とした学内奨学金・民間奨学金もあります。
希望する方は入学後、学術院からの案内に従って奨学金登録を行ってください。
奨学金の例は奨学課のwebサイトに掲載されています。